

部門賞 受賞者の紹介



環境工学部門功績賞を 受賞して

西村 正治
鳥取大学大学院工学研究科

このたびは、環境工学部門功績賞を受賞させていただき、誠に有難うございます。これも、環境工学部門に関係する皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。私は1990年の部門発足当時から運営委員に加わり、いつの間にか本部門が学会活動の中心拠点になっていました。2008年には部門長を務めさせていただきましたが、委員の皆様の多大なご協力の下、乗り切れたの

を記憶しています。また、「先進サステナブル都市WG」が発足し、本部門から環境にやさしいサステナブルな都市の青写真を発信しようと、いろいろ知恵を絞っていただきました。本活動は現在も継続されており、少しでも世の中の環境改善に貢献できることを期待しています。

私は「機械の静粛化」を専門としています。最近では、単なる低騒音化（マイナスをゼロに戻す技術）ではなく、快音化や軽量化による省エネ実現等、付加価値を与える技術（ゼロをプラスにする技術）としても注目されています。今後、学会活動や技術コンサルティング活動などを通して、これまで蓄えた経験やノウハウを具体的な製品開発に活かせればと考えています。

最後になりましたが、今後の本部門の益々のご発展を期待しています。



環境工学部門研究業績賞を 受賞して

御法川 学
法政大学理工学部機械工学科

この度は、環境工学部門研究業績賞を受賞することになり、まずは部門の皆様方をはじめ、今回の受賞対象論文を執筆した西口誠人君ほか、関係各位に厚く御礼申し上げます。今回、研究業績賞の対象となったのは、「高流速に伴い発生する合流配管における流動励起振動」に関する一連の研究であり、石油化学プラント

ト会社との共同研究の成果であります。本研究は、石油化学プラントの複雑な配管系の流体関連振動による破損リスクおよび健全性評価手法の確立に関して実験解析によって新たなモデル化を行ったものであり、実務上も極めて有用な手法となっております。私は学生時代から企業、大学と、継続して流体騒音（特にファン騒音）の研究に携わって参りました。最近では、情報機器の冷却に不可欠になっているマイクロファンの性能・騒音・振動評価方法の国際的な規格作成にも関与し、情報機器の環境適合性の向上にも尽力しております。このような恵まれた環境の下で研究を続けられたのも、環境工学部門の著名な諸先輩方の暖かいご指導の賜物と思います。どうもありがとうございました。



環境工学部門研究業績賞を 受賞して

石野 洋二郎
名古屋工業大学大学院工学研究科
機能工学専攻

このたびは、2015年度環境工学部門研究業績賞を賜り、関係の皆様にご感謝申し上げます。受賞対象は、長年、研究に携わってきた、「燃焼技術、燃焼計測法、エネルギー機器に関する研究開発」——具体的には、廃棄プラスチック粉末の微視的燃焼過程の研究、多方向同時撮像光学系とCT（コンピュータ断層造影）法による非常火災の瞬間三次元形状の計測研究、低振動性を特徴とする新規構造の回転式エンジンの提案および開発研究、ならびに、大気への環境負荷を抑える

排熱回収型高効率コンロの開発研究などが受賞対象となったとのことでした。

これまで、「機械工学で世界の姿を変える」ことをモットーに、環境に関する研究成果の獲得のみならず、ギネス世界記録も獲得した多眼カメラのように計測機器の創造・製作にも力を入れ、研究者以外の人たちにも「機械工学の楽しさ」を伝えたいと想い研究を続けてまいりました。こうした研究方針は、今後も続けるつもりですが、この度の研究業績賞の授与により、今度は、環境研究の成果で「世界を変えろ」と励まされた気がします。技術委員会や環境工学総合シンポジウムあるいはその後の懇親会などでお会いする先生方の励ましを感じながら、地球環境を良き方向に変えられるよう研究に邁進したいと思います。また、講演会の活性化ならびに部門運営などにも貢献してまいりたいと考えています。